



上映プログラム
「こもりびと」
「カンパニユラの夢」



つながるを、伝える

「きこもり」 映画祭

in 30 へマ 2024

HIKIKOMORI FILM FESTIVAL IN YOKOHAMA 2024

2024年1月19日 [金] 申込み不要 入退場自由
10:00 - 15:00 会場 | 横浜市役所1Fアトリウム
所在地 | 横浜市中区本町6丁目50番地の10

アクセス | みなとみらい線「馬車道」駅下車、1C出口直結 JR「桜木町」駅下車、新南口から徒歩約3分 市営地下鉄「桜木町」駅下車、1口から徒歩約3分
主催 | 横浜市健康福祉局 協力 | 神奈川県立青少年センター・横浜市青少年相談センター 問い合わせ | 045-752-8463 (横浜市健康福祉局ひきこもり支援課)

入場
無料

🎬 上映スケジュール

10:00-11:15 | こもりびと

11:30-12:10 | カンパニユラの夢

12:15-12:50 | カンパニユラの夢

13:00-14:15 | こもりびと

14:25-15:00 | カンパニユラの夢

🎥 上映作品紹介

NHKスペシャル

「ドラマ こもりびと」

出演：松山ケンイチ／北香那／迫田孝也／根岸季衣
武田鉄矢 ほか

作：羽原大介 音楽：上野耕路 挿入歌：ザ・ブルーハーツ

NHKスペシャル班の膨大な取材の蓄積をもとに、
『ひきこもり』当事者の声をドラマで描く

10年以上ひきこもり生活を送る倉田雅夫(松山ケンイチ)。重いストレスを抱え働けなくなったことがきっかけだった。厳格な父・一夫(武田鉄矢)は元教師。地元でも尊敬を集める存在だが、雅夫の存在を世間から隠し、立ち直らせることも諦めていた。しかし、自らの余命宣告を機に、最後にもう一度息子と向き合うことに。一方の雅夫は、閉ざされた部屋の中で人知れず、ひきこもりから抜け出す道を必死で探っていた一

「カンパニユラの夢」

出演：宮地真緒／六角精児／山田ルイ53世 ほか
監督・脚本：作道 雄

本作は、岸本家と谷口家のふたつの家族の視点で進行する。谷口誠一は、自宅に20年以上ひきこもっている。両親と同居しているが、できるだけ顔を合わせないよう窮屈に暮らしている。岸本麻帆は、娘が高校生になったことを機に、近所の喫茶店「カンパニユラ」でパートとして働き始める。近所づきあいのなかで「(谷口家の)息子さん、ずっと働いてないみたいなの。気をつけて」と言われる。

ある日、岸本麻帆は、裏手にある谷口家から「出ていけ!」という怒鳴り声や大きな物音を耳にする。翌日、麻帆は谷口洋子に思いきって話しかけ、洋子の相談にのる。誠一がひきこもっていること、どうすればいいかわからず、不安を抱えていること等を聞き、なにか自分にできることはないかと、考え始める。

インターネットでひきこもり支援センターのことを調べた麻帆は、洋子に紹介。支援センターで洋子は相談ののってもらう。また、麻帆はケガした娘が自宅にこもりがちになったことをきっかけに、「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気づく。そこで喫茶店マスター引田啓介と共に、ひきこもりの方を集めて交流する「ひきこもりオフ会」を企画する。誠一は、洋子から支援センターや喫茶店イベントの話を知ることが、それでも動こうとしない。オフ会は何度か開催されて参加人数も増えてきた。引田のプロクで「がんばらなくてもいい。楽しく過ごすだけでいい」という言葉を見た誠一は、一度参加してみることにする…



©兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会